

「冤罪文庫」推進について

発表者・大河内次雄

国賠ネット会員が所持している冤罪関連の書籍。「これが各人の高齢化・終活の中で破棄されていくのは惜しい」との松永氏提案が昨年 11 月にあった。これを受け、その推進の具体案に関して大河内氏が前回の「通信」に載せている。今回は同氏より、その趣旨及び補足説明がなされた。

その具体策の第一歩としては、各自が所有図書の書名タイトル、著者、出版社、発行年月、I S B N、簡単な内容の解説を国賠ネットに投稿してほしい、とのことである。そして「今後の活用・運用は未定ではあるものの、やりようによっては反冤罪活動に貢献できるはず」との呼びかけであった。(文責・森田義男)

